

第 50 回 LHC RRB 報告 2020 年 4 月 27-28 日 CERN

#####

Plenary 2020 年 4 月 27 日 Zoom を使ったりリモート接続
日本からの参加者：寺坂（ジュネーブ代表部），浅井（東大），花垣（KEK）

資料は以下。

<https://indico.cern.ch/event/886252/timetable/?showSession=1&view=standard>

Welcome and Approval of the minutes of the last meeting (Eckhard Elsen)

- 前回の議事録を承認した。

CERN Status and News (Eckhard Elsen)

- 財政監視メンバーを紹介した。

LS2 and Run3 schedule - Status of the Experiments (Eckhard Elsen)

- 新型コロナの影響を受けるまでの，実験グループの長期シャットダウン中の活動報告と，第 3 期運転に向けた準備状況の説明を行った。
- 新型コロナの対応策と現状を報告した。深刻さに応じて，Stage 1 から Stage 3 までの 3 段階を定義し，現在は，一番深刻な Stage 1 対応を取っている。安全関連など，研究所の最低限の活動以外は止めている状態で，通常の 1/10 程度以下の人間しか入構していない。今後は，状況を注視しつつ，5 月中旬に Stage 2 に，そのさらにその 16 週間後に Stage 3 に変えていく予定。

Accelerator Status during LS2 (Frederick Bordry)

- 新型コロナの影響で加速器関連の活動は現在ほぼ休止中であるが，活動休止前までは，シャットダウン中の補修作業が順調に進んだ。HL-LHC に向けては，陽子陽子衝突点近傍の掘削工事の 90% 程度を終えることができた。
- 新型コロナによるシャットダウン中の工程の遅れは現段階では 3 ヶ月程度と見込んでいる。地元であるスイスとフランスの理解により掘削工事を再開した。

Report from the Scientific Computing Forum (Eckhard Elsen)

- Scientific Computing Forum の活動状況を紹介をした。前回は，量子コンピュータに関連する話題を扱った。

ATLAS RRB 2020 年 4 月 28 日 Zoom を使ったりリモート接続

日本からの参加者：寺坂（ジュネーブ代表部），浅井（東大），花垣（KEK）

資料は以下。

<https://indico.cern.ch/event/905774/timetable/>

Approval of the minutes of the last meeting

- 前回の議事録を承認した。

Status of the experiments: Results, Offline, Phase-II (Karl Jakobs)

- これまでに収集したデータ解析結果のハイライト, Phase-II アップグレード計画の進行状況について報告した。LHC 実験のような大型計画では, 実験の運用や測定器の保守や改善を続けていくために, 長期にわたる系統だった努力が必要であることが強調された。
- 日本のメンバー構成に変化があり, 広島工業大学と長崎科学総合大学が ATLAS グループから脱退したことが報告された。
- Phase-II アップグレードの財政状況に関しては, 各国の覚書締結状況の表を提示した。CERN のメンバー国は全てサインをしたことにより, 次はオブザーバー国にサインをしてもらうことが期待されている。

Status of Experiment: Detector and Phase-I upgrades (Ludovico Pontecorvo)

- LS2 における ATLAS 検出器の整備状況, ならびにアップグレード状況を報告した。

LHCC Deliberations (Thorsten Wengler)

- LHCC で議論された, 物理解析の進捗状況やアップグレードに関するレビュー結果を報告した。

Financial matters (Gregory Cavallo)

- 実験の保守運用経費の各国の支払い状況を報告した。

Budgets (David Francis)

- 2019 年の保守運用経費の収支と 2021 年の予定について説明した。
 - Phase-I アップグレード予算の 2019 年の収支, 2020 年の現状を報告した。
- (文責 花垣)